

町勢の成績 (出品4頭)

ホルスタイン種 (未経産)			
部門 (月齢)	出品者 (敬称略)	出品牛各号	審査成績
第1部 (10か月以上12か月未満・サイア娘牛)	中村 大地 (橋場)	K6 モージヤス パリス リフレクション	優等賞3席 (29頭中第3位)
第2部 (12か月以上14か月未満)	(株) Peace Valley Dalry (八幡勝幸代表・星野)	ピースバレー ゴールド レディー アイ ET	2等賞6席 (37頭中第26位)
第4部 (16か月以上18か月未満)		ピースバレー ゴールド J ラムダ アミー	1等賞5席 (20頭中第11位)
ジャージー種 (未経産)			
第17部 (10か月以上16か月未満)	(株) GRF ホルスタインズ (折元大樹代表・遠矢場)	モリノウ G アイバーソン テキーラ	1等賞1席 (4頭中第3位)

町勢出場者インタビュー

町勢で**最高成績・貴重な経験に感謝**

会場到着後に牛が本調子ではなかったが、獣医さんをはじめ多くの方々にお世話になり、無事に出場することができました。審査で



K6 モージヤス パリス リフレクション

部門3位に決まった瞬間は頭の中が真っ白になりましたが、今大会では貴重な経験をさせていただき、支援していただいた方々に改めて感謝の気持ちを伝えたいです。今後も乳牛改良に全力を注ぎたいと思います。



中村 大地 さん (橋場)

町の酪農のために**次の世代へ期待**



▲ピースバレー ゴールド レディー アイ ET



▼ピースバレー ゴールド J ラムダ アミー



(株) Peace Valley Dalry 代表 八幡 勝幸 さん (星野)

全国大会のレベルの高さを感じました。町の酪農のために、やりたいこともあります。今後は息子夫婦をはじめ、若い世代の人たちの活躍を期待していきたいです。これからもご協力どうぞよろしくをお願いします。

全共の**経験を糧に日々努力**



▼モリノウ G アイバーソン テキーラ



▲第17部の審査の様子



(株) GRF ホルスタインズ 代表 折元 大樹 さん (遠矢場)

会場への輸送の疲れもなく、牛が順調に仕上がった状態で全国大会に出品でき、皆さまのご協力に感謝を申し上げます。また出場できるチャンスがあれば、今回の成績を上回ることができるように努力を重ねていきたいです。



▲全国の予選を勝ち抜いた乳牛を厳正に審査



▲審査会場の北海道ホルスタイン共進会場

(二社) 日本ホルスタイン登録協会主催の第16回全日本ホルスタイン共進会(通称「全共」)北海道大会が10月25日と26日の2日間、北海道安平町で開催されました。乳牛改良の成果を競う全共は、昭和26年の第1回大会以後、5年おきに開催され「乳牛のオリンピック」と呼ばれています。5年前に開催予定だった第15回大会はコロナ禍の影響により中止となったため、今大会が10年ぶりの開催となりました。出品数が過去最多となった今大会には、39都道府県からホルスタイン種16部門に358頭、ジャージー種4部門に28頭が出品され、岩手県の出品枠はジャージー種を含めて19頭。当町からはホルスタイン種に3頭、ジャージー種に1頭が出場しました。審査の結果、ホルスタイン種未経産部門第1部で中村大地さん(橋場)の出品牛が町勢最高の優等賞3席に入り、全共における町勢歴代最高成績に並びました。そのほかホルスタイン種未経産部門第2・4部で(株) Peace Valley Dalry (八幡勝幸代表・星野)、ジャージー種未経産部門第17部で(株) GRF ホルスタインズ(折元大樹代表・遠矢場)の出品牛がそれぞれ健闘を見せ、「東北一の酪農郷」を全国の舞台でアピールしました。

北海道で10年ぶりの開催
全日本ホルスタイン共進会